

気の置けない仲間

ラジオネーム：北のサボテン

私も、友人の訃報を聞く年齢になってしまいました。

まあ、年齢がいけば仕方がないことなのですが、親しい人や、同窓生、長年の友人など、よく知る人の訃報はやはりつらい気分になります。

トシちゃんのことを聞いた時は、特に呆然とした気分になりました。

「トシちゃん・・・」と仲間内でちゃん付けで呼ばれていたきみは、

実に気分のいい、楽しい友達だった。

小さな飲み会から、遠出の旅行まで、仲間たちの集まり、楽しみの機会にはいつも細かな面倒なことを嬉しそうに笑顔でこなしてくれた。

「ママだよなー」とみんなが言っていたけど、人を楽しくさせるじぶ、一緒に楽しむことが大好きだったんだよな。

奥さんに先立たね、一人暮らしという日もあったかもしれないけど、

「仲間とワイワイやっているのが一番嬉しいのね」とよく言っていたよな。

ちょっとした車の用事、頼まれての買い物、大工仕事の手伝い、庭造りの計画・・・声がかかれば、実に一生懸命取り組んでいた。

トシちゃんがメンバーに入っていると、何をやっても楽しかった。かといって、特別冗談を飛ばすタイプでもなかった。一緒に何かやること一緒にいることを心から喜んでくれていたよな。

トシちゃんの雰囲気がどれだけ俺たちの気分を盛り上げてくれていたか・・・俺もみんなも、亡くなってからつづつづん思い知ったような感じがあるんだよ。

トシちゃん、これまでありがとう。あらためて感謝します。みんなが集まるよ。「なんかトシちゃんがまだいる気がするよな」と言っているよ。

まあ、順番に天国でまた集まることになるんだよ。

そしたら頼むよ、またみんなの嬉しくなることを考えつくわよな！

リクエスト曲

（ 青春謳歌 / 林田健司 ）